



# ねりまの文化財

練馬区 地域文化部  
文化・生涯学習課  
伝統文化係  
〒176-8501  
練馬区豊玉北 6-12-1  
TEL 03(5984)2442

## 東京文化財ウィーク 2025

11月1日から7日までの一週間は「文化財保護強調週間」です。全国で文化財保護と活用の推進を図るため、各種事業が行われます。東京都では、皆様に文化財を身近に感じていただくため、11月3日の文化の日前後を「東京文化財ウィーク」として、都内全域で様々な文化財の公開事業を実施します。ここでは、区内の関連事業を紹介いたします。

### 企画事業

## 尾崎遺跡展示解説会

尾崎遺跡（春日町5丁目）は、石神井川左岸の標高35mの低地から台地にかけて立地する遺跡です。春日町5丁目12番の区立春日小学校建設に先立ち、昭和54年（1979）・55年に発掘調査を行い、旧石器時代から近世までの遺構や遺物が発見されました。

出土品には、縄文時代早期の底の尖った、尖底土器や、平安時代の須恵器の側面に「仲」と墨で書かれた坏などがあり、区指定文化財となっています。

解説会では、尾崎遺跡の発掘調査で見つかった出土品について、学芸員が解説します。

【日時】11月1日（土）＊各回40分程度

① 午前10時開始 ② 午後2時開始

【場所】春日小学校1階 資料展示室（春日町5-12）

【アクセス】練馬春日町駅下車徒歩8分

【参加費】無料 【定員】各回10名程度

【申込】当日会場に直接お越しください



尖底土器



（奥）弥生土器の甕（かめ）  
（手前）土師器・須恵器の坏

## 練馬区内の国指定・都指定文化財の公開

区内の国・都指定文化財をご案内いたします。期間中は小野蘭山墓誌を特別公開しておりますので、この機会にぜひ、ご見学ください。

### ●国指定天然記念物

・練馬白山神社の大ケヤキ

【所在】練馬4-2 白山神社境内

【アクセス】豊島園駅下車 徒歩5分

・三宝寺池沼沢植物群落

### ●都指定史跡

・石神井城跡

【所在】石神井台1-27ほか（都立石神井公園内）

【アクセス】石神井公園駅下車 徒歩15分

・東高野山奥之院

【所在】高野台3-10 長命寺境内

【アクセス】練馬高野台駅下車 徒歩5分

### ●都指定名勝および史跡

・牧野記念庭園（牧野富太郎宅跡）

【所在】東大泉6-34

【アクセス】大泉学園駅下車 徒歩5分

【開園情報】午前9時～午後5時 火曜休園

### ●都指定有形文化財

・小野蘭山墓および墓誌

【所在】練馬4-27 迎接院墓地内

（墓誌の公開について詳細は3頁参照）

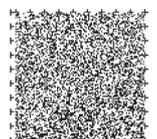
【アクセス】豊島園駅下車 徒歩5分

### ●都指定旧跡

・池永道雲墓

【所在】練馬4-27 受用院墓地内

【アクセス】豊島園駅下車 徒歩5分



## 東京文化財ウィーク関連 石神井公園ふるさと文化館主催事業

### ●特別展 「昭和 100 年 日常の風景—太田隆司ペーパーアートの世界—」

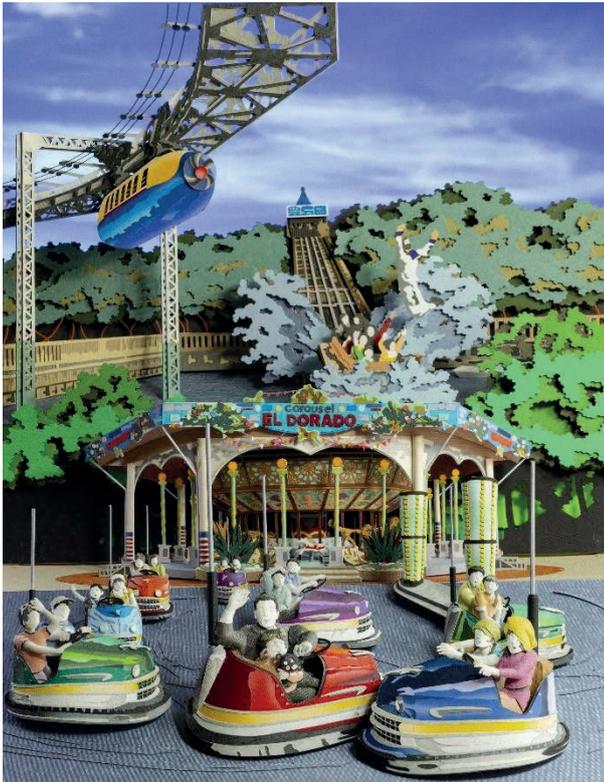
令和 7 年(2025)は「昭和 100 年」にあたります。戦争の時代を経て、戦後日本は大きく発展を遂げてきました。電気・水道・ガスの整備が徐々に進み、家電製品などの便利な暮らしの道具や自動車が普及して、服装にも変化がみられました。

本展では、ペーパーアーティスト<sup>おおたか</sup>太田隆司氏の手がけるペーパーアート作品を通じて、街並みや日常生活など昭和の風景、今も残る昭和の残像をお楽しみいただければと思います。昭和のとしまえんをテーマにした新作は初公開です。また、当時の写真を展示し、練馬の昭和の日常風景も紹介します。

【期間】 9 月 13 日(土)～11 月 3 日(月・祝) 午前 9 時～午後 6 時

【場所】 石神井公園ふるさと文化館 企画展示室

【観覧料】 一般 300 円、高校生・大学生 200 円、65 歳以上 75 歳未満・障害者手帳をお持ちの方 150 円、中学生以下・75 歳以上の方は無料



(左)Enjoy the Show-WA!としまえん amusement park

(上)巣立つ日のわが家

制作：太田隆司 制作助手：新井隆 撮影：逸見祥希

©TAKASHI OHTA

### ●特別展関連ギャラリートーク

【日時】 10 月 5 日(日)

A 回 午後 1 時～ B 回 午後 3 時～ (各回 30 分程度)

【場所】 同館 企画展示室

【解説】 太田隆司 (ペーパーアーティスト)

【定員】 なし

【参加費】 無料

【申込】 不要。当日会場にお越しください

### ●特別展関連ワークショップ

「作品に登場する犬を作ろう！」

【日時】 10 月 26 日(日) 午後 2 時から 4 時

【場所】 同館 多目的会議室

【講師】 太田隆司 (ペーパーアーティスト)

【定員】 30 名(抽選)

【対象】 小学生以上

(1～3 年生は保護者の付き添いが必要)

【参加費】 150 円

【申込】 往復ハガキまたは館公式 HP 申込フォームにて、① イベント名、② 氏名 (ふりがな、申し込みは 2 名まで)、③ 住所、④ 電話番号を記入の上、石神井公園ふるさと文化館へ。10 月 2 日(必着)

### ●特別展関連ワークショップ

「3D ポップアップカード「としまえん」を作ろう！」

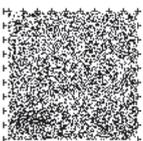
【日時】 10 月 12 日(日) 午後 2 時から 4 時

【場所】 同館 多目的会議室

【講師】 太田隆司 (ペーパーアーティスト)

【定員】 30 名(抽選) 【対象】 小学生以上 (1～3 年生は保護者の付き添いが必要) 【参加費】 100 円

【申込】 往復ハガキまたは館公式 HP 申込フォームにて、① イベント名、② 氏名 (ふりがな、申し込みは 2 名まで)、③ 住所、④ 電話番号を記入の上、石神井公園ふるさと文化館へ。9 月 18 日(必着)



## ●公開事業

## 「丸山東遺跡方形周溝墓出土品」

弥生時代後期の方形周溝墓から出土した壺形土器、鉄剣、ガラス玉、管玉からなる出土品（都指定有形文化財）を通年で常設展示しています。

【場所】同館 常設展示室（無料）

## ●特別公開事業 「小野蘭山墓誌」

江戸時代中期の本草学者（博物学者）である小野蘭山（1729～1810）の墓誌（都指定有形文化財）を特別公開します。

【期間】10月25日(土)～11月3日(月・祝)

【場所】同館 常設展示室（無料）

## ●石神井城跡発掘パネル展

石神井城跡(中世豊島氏の城跡、都指定史跡)の発掘調査当時の様子や成果などを、特別公開中の主郭内にて写真パネルで紹介します。

【期間】11月1日(土)～11月3日(月・祝)

午前10時～午後4時

【場所】都立石神井公園内石神井城跡（石神井台1丁目）  
（無料）

## 石神井公園ふるさと文化館

住所：〒177-0041 練馬区石神井町5-12-16

電話：03(3996)4060

休館日：月曜日（月曜日が祝休日の場合はその翌平日）  
年末年始

開館時間：午前9時～午後6時

## 昭和 100 年 ～練馬の変化～

昭和元年（1926）から100年目の節目に際し、以下の3点について100年間の変化をみてみましょう。

### 1 行政区画

100年前の練馬区域は、東京府北豊島郡、下練馬村、上練馬村、石神井村、大泉村、中新井村、上板橋村（一部）でした。昭和7年（1932）に東京市域が拡張した際に、東京市に編入され、東京府東京市板橋区となりました。昭和22年（1947）8月に板橋区から分離独立し、東京都練馬区となって現在にいたります。

### 2 人口

令和7年8月時点で、練馬区の人口は、約75万人に達しようとしています。100年前の人口は約3万4千人で、20倍以上増加しました。

江戸時代から明治期にかけての練馬は、江戸近郊の農村地帯でした。大正の終わり頃から、都市部から移り住む人が少しずつ増えてきました。最も人口増加率が高かったのは昭和30年代で、住宅地化が急速に進む中で、人口が2万人以上増える年が連続しました。

その後、人口増加はゆるやかになりましたが、練馬区では現在でも人口が増え続けています。

### 3 学校

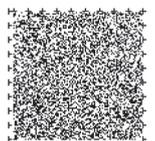
今から100年前、義務教育は尋常小学校の6年間（6～12歳）でした。当時、練馬区域には、8つの村立小学校（現在の豊玉・開進第一・練馬・豊溪・石神井・石神井西・石神井東・大泉）と3つの分校（大泉第一・大泉第二・大泉第三）がありました。

尋常小学校卒業後の進学先として、2年制の高等小学校への進学と、5年制の中学校（男子）・高等女学校（女子）を受験する道がありましたが、進学率は高くありませんでした。村立の高等小学校は、5校（現在の豊玉・開進第一・練馬・石神井・大泉）ありました。

昭和10年代になり、進学率が上昇する中で、東京府全域で府立中学と府立高等女学校の開校が相次ぎました。練馬区域で初の府立中学校（現在の都立石神井高校）が昭和15年（1940）に開校し、翌年には府立中学（現在の都立大泉高校）と府立高等女学校（都立井草高校）が開校しました。

昭和22年、義務教育が今と同じ9年間に変わり、新制度の中学校が発足しました。

現在、区内には65の区立小学校と、33の区立中学校があります。



速報！！

## 堀北遺跡の第 8 次調査

堀北遺跡は石神井川左岸の台地縁辺に所在する縄文時代と古墳時代の遺跡です。富士見台 4 丁目 34 番における宅地造成に先立って、令和 6 年 11 月 18 日から 12 月 27 日に民間事業者が発掘調査を行った結果、縄文時代中期の住居跡が 5 軒みつかりました。調査範囲が限られていたため、住居跡の全体像はわかりませんでした。住居内より、区内では珍しい東北地方の影響を受けた土器が出土しました。

この土器は、練馬区における縄文時代中期の代表的な土器である勝坂式土器（神奈川県相模原市勝坂遺跡に由来する土器）に、大木式土器（宮城県七ヶ浜町所在の大木圀貝塚に由来する土器）の影響を受けた大型の把手がついたものです。似たような文様を持つ土器は、福島県からも見つかっており、当時の地方間の交流を探る手がかりとなります。

なお、発掘調査の成果は堀北遺跡第 8 次調査として近日中に刊行され、区内図書館等で閲覧することができます。



堀北遺跡第 8 次調査出土の縄文土器（2 方向から撮影）

## 文化財保護審議会委員委嘱（第 20 期）

練馬区では、区内文化財の保存・活用を図るため、練馬区文化財保護条例に基づき、学識経験者で構成する練馬区文化財保護審議会を設置しています。

主な役割は、①教育委員会の諮問に応じる。②文化財の保存等について重要事項を調査し、審議する。③重要事項について教育委員会に提言する。の 3 点です。

この度、令和 7 年 4 月 1 日付けで下記 6 名の方に委員を委嘱しました。任期は 2 年です。

伊郷 吉信	自由建築研究所	(建築)
漆澤 その子	武蔵大学教授	(日本芸能史・文化史)
佐藤 孝之	東京大学史料編纂所名誉教授	(日本近世史)
副島 弘道	大正大学名誉教授	(日本彫刻史・文化財学)
福原 敏男	武蔵大学教授	(日本民俗学・祭礼文化史)
森 公章	東洋大学教授	(日本古代史)

五十音順・敬称略・（専門分野）

